

株主の
皆様へ

第55期第2四半期

株主通信

2022年 春号

2021年10月1日から
2022年3月31日まで

【個人投資家の皆様へ】

詳しくはホームページをご覧ください。



<https://www.asaka.co.jp/>



証券コード
5724

『只見線』

JR只見線は、会津若松から新潟県の小出までの135キロを結ぶ路線です。蛇行する只見川や破間川に沿っており、豪雪地帯でもあることから、日本でも屈指の絶景路線として高い人気を誇っています。2011年7月の豪雨により橋梁などが流された会津川口～只見間が不通となっていましたが、2022年10月1日から11年振りに全線が再開通することが決まりました。豊かな自然と、秘境ともいえる奥只見を走る鉄道の嬉しい復活です。



株式会社アサカ理研

Top Message

代表取締役社長 **油木田祐策**



株主の皆様におかれましては、平素より当社の活動に多大なるご支援、ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

ここに2022年9月期第2四半期における当社の事業概況及び今後の見通しについてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染状況が改善し、経済活動の正常化に向けた動きが継続したものの、地政学リスクの高まりに伴うエネルギー・資源価格の高騰など、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、半導体等の電子部品需要が拡大したことにより、貴金属の取扱い数量は前期を上回りました。主要製品の内、貴金属の価格は地政学リスクへの懸念等に伴いドル建て価格が高騰したことに加え、米国長期金利の上昇に伴う円安ドル高の影響で円建て価格も上昇したことにより前期を上回りました。銅の価格は電動車や再生可能エネルギー等の脱炭素関連需要が拡大し、前期を上回る水準となりました。

このような事業環境の中、当社グループは資源循環型社会の実現を見据えた取り組みをより拡充し、新規事業の確立及び経営基盤の強化に努めました。既存事業では新型コロナウ

イルス感染症の影響により、対面での営業活動は一部制限されたものの、リモート営業の導入や顧客ニーズに応える提案型営業の強化に取り組み、堅調に推移する電子部品・デバイス工業分野における市場において取引を拡大することができました。

新規事業ではリチウムイオン電池（以下、LiB：Lithium-ion Battery）再生事業の研究開発及び事業化に引き続き注力し、現在はより効率的な製品化プロセスの確立を目指した実証実験を行っております。なお、事業スキーム構築を目的とした事業パートナーとの連携につきましては現在も大きな枠組みの形成に向けて、複数企業とアライアンス締結に向けた交渉を継続しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

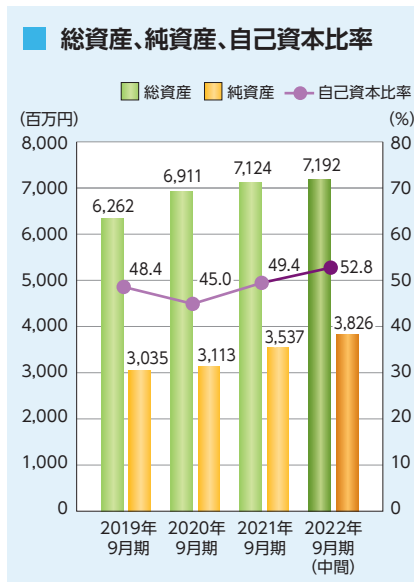
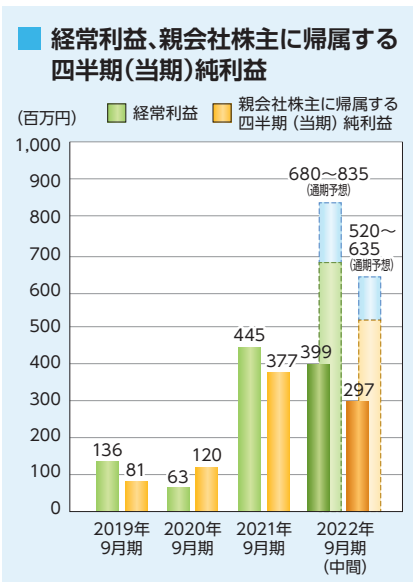
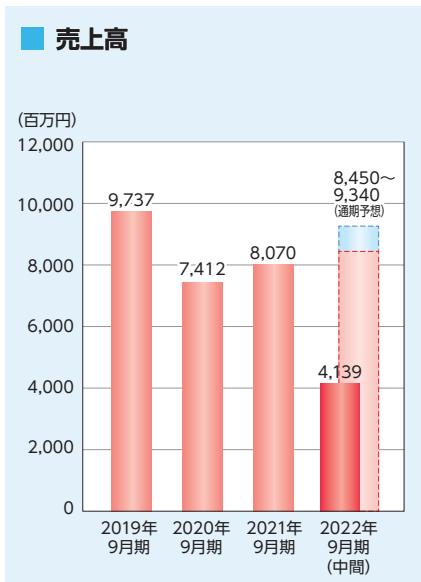
当第2四半期連結累計期間の概況

【当第2四半期連結累計期間は増収増益】

当第2四半期連結累計期間の連結業績は売上高4,139百万円(対前年同四半期11.1%増)、営業利益410百万円(同137.3%増)、経常利益399百万円(同122.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益297百万円(同103.6%増)となりました。LiB再生事業の研究開発規模の拡大に伴い研究開発費等の経費は増加いたしました。主に貴金属の取扱い数量並びに主要製品価格が前期を上回ったことにより、増収増益となりました。

【通期連結業績予想について】

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績と今後の動向を踏まえて、売上高8,450~9,340百万円(対前回公表予想比16.5~16.7%増)、経常利益680~835百万円(同183.3~119.7%増)に修正し、2022年4月28日に発表しております。



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期末 (2022年3月31日)	前期末 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,744	1,682
受取手形及び売掛金	460	449
棚卸資産	1,337	1,326
その他	228	225
固定資産		
有形固定資産	3,000	2,825
無形固定資産	29	33
投資その他の資産	391	581
資産合計 ①	7,192	7,124

（単位：百万円）

	当第2四半期末 (2022年3月31日)	前期末 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債	2,022	2,408
固定負債	1,343	1,178
負債合計 ②	3,366	3,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	504	504
資本剰余金	366	360
利益剰余金	2,873	2,616
自己株式	△ 33	△ 41
その他の包括利益累計額	84	77
新株予約権	26	16
非支配株主持分	4	4
純資産合計	3,826	3,537
負債純資産合計	7,192	7,124

Point ①

前連結会計年度末に比べて67百万円増加し、7,192百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が62百万円、受取手形及び売掛金が25百万円、建設仮勘定が189百万円増加し、その他（投資その他の資産）が217百万円減少したことによるものです。

Point ②

前連結会計年度末に比べて221百万円減少し、3,366百万円となりました。主な要因は、借入金が371百万円減少し、買掛金が41百万円、未払法人税等が49百万円、借入金地金が44百万円増加したことによるものです。

Point ③

営業活動によるキャッシュ・フローは、549百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が378百万円、減価償却費が106百万円、仕入債務の増加額が41百万円です。

Point ④

投資活動によるキャッシュ・フローは、68百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出が286百万円、その他（投資）の収入が219百万円です。

Point ⑤

財務活動によるキャッシュ・フローは、419百万円の支出となりました。主な内訳は、短期借入金の純減額が527百万円、長期借入金の返済による支出が45百万円、配当金の支払額が40百万円、長期借入れによる収入が200百万円です。

■ 四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (2021年10月1日～ 2022年3月31日)	前第2四半期 (2020年10月1日～ 2021年3月31日)
売上高	4,139	3,726
売上原価	2,887	2,847
売上総利益	1,251	879
販売費及び一般管理費	841	706
営業利益	410	172
営業外収益	9	36
営業外費用	21	30
経常利益	399	178
特別利益	—	5
特別損失	20	8
税金等調整前四半期純利益	378	175
法人税等合計	80	28
四半期純利益	297	146
非支配株主に帰属する 四半期純損失(△)	△ 0	△ 0
親会社株主に帰属する四半期純利益	297	146

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

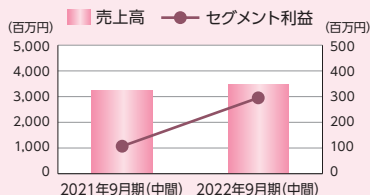
（単位：百万円）

	当第2四半期 (2021年10月1日～ 2022年3月31日)	前第2四半期 (2020年10月1日～ 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ③	549	△ 75
投資活動によるキャッシュ・フロー ④	△ 68	△ 80
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑤	△ 419	△ 10
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	62	△ 165
現金及び現金同等物の期首残高	1,054	1,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,117	1,054

■ 事業セグメントごとの状況

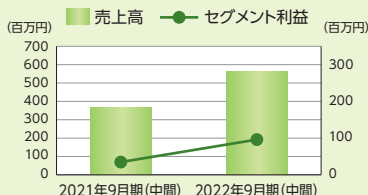
■ 貴金属事業

貴金属の売買取引を伴わない受託加工取引の割合が増加したことにより販売数量が減少した一方、貴金属の取扱い数量並びに価格が前期を上回ったことで、売上高は3,497百万円（対前年同四半期7.2%増）、セグメント利益は298百万円（同177.3%増）の増収増益となりました。



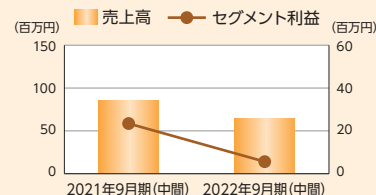
■ 環境事業

銅の販売価格が前期を上回ったことに加え、主力製品である銅ペレットの販売数量が増加したことで、売上高は568百万円（同54.5%増）、セグメント利益は96百万円（同190.1%増）の増収増益となりました。



■ システム事業

主力製品である品質管理システムの販売が減少したことで、売上高は64百万円（同27.2%減）、セグメント利益は581千円（同97.5%減）の減収減益となりました。



ブランドコンセプト 「Circulate the possibilities」を制定しました



創業時から現在まで取り組んでいる既存事業と、これから立ち上げる新規事業の根底にあるのは、「資源を有効活用する」という考え方です。

これらは、昨今関心の高まりを見せているSDGsに即した「当社らしさ」であり、これからの未来を形作る礎と言えます。

こうした「らしさ」と目指していく「ビジョン」を抽出し、「Circulate the possibilities 資源の可能性を再発見し、循環させる。」というブランドコンセプトを制定しました。

このコンセプトに共感する仲間を募ることは、新しい価値観を取り入れることや、社員の可能性を発見することに繋がると考えています。事業における可能性のみならず、「社内における可能性」を循環させることにより、当社グループ全体を成長・発展させてまいります。

また、コンセプトの制定に併せ当社コーポレートサイトをリニューアルいたしました。以下URLより是非ご覧ください。
URL : <https://www.asaka.co.jp/>

新社屋 第一本社棟を竣工しました

昨年11月より建設を進めていた新社屋が2022年4月末に完成し、5月12日（木）、無事竣工式が執り行われました。



今般の新社屋建設は、環境事業、貴金属事業を中心とした郡山製造拠点全体及び子会社である(株)アサカ弘運を含めた、当社グループのリノベーション計画の第1弾となります。

第一本社棟は一部業務を移転しており、「LiB再生事業」の統括を行うコントロールタワーとなります。また現社屋は名称を「第二本社棟」へ変更し、製造事務所機能を吸収いたします。

Web会議の設備・ミーティングスペースの拡充やバリアフリーに対応した設備の設置のほか、自社使用の電力を一部賄うため太陽光パネルを設置いたしました。

新社屋より新規事業の実現を目指し、当社、ひいては地域経済を含めた成長に貢献してまいります。

<概要>

建築面積：444.96m² 延べ床面積：859.76m² 構造：鉄骨造 階数：2階



Information (2022年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社アサカ理研
本社	〒963-0725 福島県郡山市田村町 金屋字マセロ47番地
設立年月日	1969年8月25日
資本金	504,295,600円

事業内容

- ①貴金属事業 / 金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精製処理及び販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生及び販売
- ②環境事業 / 塩化第二鉄液の再生・販売、銅粉の回収、銅ペレットの製造・販売
- ③システム事業 / 自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発及び販売
- ④その他の事業 / 工業薬品の運搬、廃液の収集運搬

役員

代表取締役会長	山田 慶太
代表取締役社長	油木田 祐策
取締役	佐久間 良一
取締役執行役員	山田 浩太
取締役	佐久間 幸雄
取締役(監査等委員長)	三崎 秀央
取締役(監査等委員)	高野 俊哉
取締役(監査等委員)	遠藤 健太郎

(注) 取締役(監査等委員)三崎秀央氏、高野俊哉氏及び遠藤健太郎氏は、社外取締役であります。

株式の状況

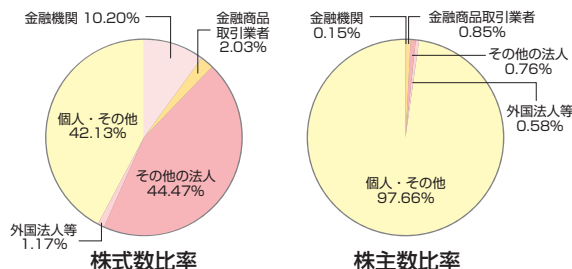
発行可能株式総数	20,400,000株
発行済株式総数	5,144,600株 (自己株式69,750株を含む)
株主数	3,426名

大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
有限会社モラル・コーポレーション	2,102,060	41.42
白岩政一	211,800	4.17
株式会社常陽銀行	180,000	3.55
株式会社東邦銀行	162,200	3.20
日本生命保険相互会社	145,000	2.86
東京中小企業投資育成株式会社	100,000	1.97
アサカ理研社員持株会	55,548	1.09
平田 弘美	32,000	0.63
山和証券株式会社	29,200	0.58
清永 敏郎	22,900	0.45

(注) 当社は自己株式(69,750株)を保有しておりますが、議決権がないため、上記に含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



(注) 上記比率は、当社所有の自己株式(69,750株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
配当金受領 株主確定日	9月30日 なお、中間配当を実施するときは3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711(通話料無料) 【郵送先】 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の 口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL:0120-49-7009(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.asaka.co.jp/ ※ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、東京証券代行が口座管理機関となっておりますので、東京証券代行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



—— 浅草岳 ～新道路の開通に期待～ ——

浅草岳は越後山脈の福島・新潟県境に位置する1,585メートルの山です。山麓のブナ林、山頂付近の湿地やヒメサコリなどの花々、登山道からの眺望などが登山者に人気です。現在、浅草岳の北側に、4年後の2026年の完成を目指し国道289号線が建設中です。交通の難所「八十里越峠」を通り、一年を通して会津と越後が結ばれる道路が開通する予定です。新たな観光ルートとして大きな注目を浴びることでしょう。

福島の旅が丸わかり!!

うつくしま観光プロモーション推進機構（公益財団法人福島県観光物産交流協会 内）
〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号（コラッセふくしま7階）
TEL：024-525-4024 FAX：024-525-4087